

活動プロ A-2 (キャンプ活動) キャンプファイヤー



キャンプファイヤーは、火を囲み、炎を見つめながら歌やダンス、スタンツ等を通して、友情・親睦を深める活動です。
この活動は、宿泊活動の中で最も楽しい、思い出に残る活動といえます。

1. 活動場所 (キャンプファイヤーは4月～10月まで実施可能です)

◇キャンプファイヤー

- ・第1 営火場 (野営場：電源有り) 70～120人程度
- ・第2 営火場 (みどりの広場：電源有り) 100～200人程度
- ・第4 営火場 (体育館西側：電源有り) 50～70人程度



2. 準備

(1) 準備物

自然の家 (薪置き場)	薪セット(バタ薪1束、太薪3束：有料)、灯油、衣装一式、電源ドラム、CDラジカセ 《薪セット、清掃用具はまき置場に準備します。》
個人・団体	トーチ棒 (必要本数)、音楽・ゲーム用テープ・CD、懐中電灯、虫除けスプレーなど

(2) 役割 (例)

- ・準備係 (5～10名) 薪組み、後始末など
- ・司会・進行 (1～2名) 全体進行、雰囲気づくりなど
- ・火の神 (1名) 全員を代表する人 (夜話)
- ・火のみこ (1名) 火の神の誘導
- ・火の守 (3名) 誓いのことば、点火



3. プログラムの展開例

(1) 準備・・・・・・・・・・薪組みは係を中心に明るいうちに行う。

(2) 火を迎える儀式

入場→火の神入場 (火のみこの誘導で会場を一巡・火の神→火の守の順)

→火の神のことば→分火(火の守へ)→誓いのことば(火の守)→点火(火の守)

(3) 交歓のつどい・・・・・・・・歌、ゲーム、ダンス、スタンツ等

(4) 火を送る儀式・・・・・・・・司会者の話→火を送る(トーチに火を移し見送る)→退場

※後始末・・・・・・・・水を十分にかけて、完全な消火を確認する。

(残灰は翌朝までに撤去し、所定の場所に処理してください。)

- ① 静かに火を迎える (入場) / 10分
- ② 火を囲んで楽しく交歓する (歌、ゲーム、ダンス、スタンツ等) / 60～70分
- ③ 静かに火を送る (退場) / 10分

※形にとらわれず、創意あふれるキャンプファイヤーを計画してください。